

知り合う

*私は福音を恥としません。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力です。*ローマの信徒への手紙　1章 16節

あなたが『福音を恥とした』経験や、逆に驚くほど勇敢に福音を分かち合った経験について教えてください。その違いを生んだ要因は何だったのでしょうか？

聖句　第一 コリントの信徒への手紙 1:18-25（聖書協会共同訳）

18 十字架の言葉は、滅びゆく者には愚かなものですが、私たち救われる者には神の力です。19 それは、こう書いてあるからです。

私は知恵ある者の知恵を滅ぼし　悟りある者の悟りを退ける。

20 知恵ある者はどこにいる。学者はどこにいる。この世の論客はどこにいる。神は世の知恵を愚かなものにされたではありませんか。21 世は神の知恵を示されていながら、知恵によって神を認めるには至らなかったので、神は、宣教という愚かな手段によって信じる者を救おうと、お考えになりました。22 ユダヤ人はしるしを求め、ギリシア人は知恵を探しますが、23 私たちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えます。すなわち、ユダヤ人にはつまずかせるもの、異邦人には愚かなものですが、24 ユダヤ人であろうがギリシア人であろうが、召された者には、神の力、神の知恵であるキリストを宣べ伝えているのです。25 なぜなら、神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです。

学び

1. キリストは、福音を告げ知らせるために、パウロをコリントに遣わされました。『しかも、キリストの十字架が空しくならないように、言葉の知恵を用いずに告げ知らせるために遣わされました。』（17節）。
   a. キリストの十字架の力とは何でしょうか？
   b. どのような理由によって、キリストの十字架の力は空しくなるのでしょうか？
   c. ここでパウロは、福音の説教のスタイルについて考えているのでしょうか、それともその内容についてでしょうか？

2. パウロは18節で、2つのグループが存在すると言っています。すなわち、滅びゆく者と救われる者です。パウロは自分自身や読者を救われる者に含めています。では、誰が滅びゆくのでしょうか？なぜ彼らは滅びゆくのでしょうか？

3. パウロは、まず19節でイザヤ書29章14節を引用し、イザヤを通して神が世の知恵者を非難し、彼らを滅ぼすと約束し、一方で神を信頼する者たちを救うと約束されていることを示しています。
   a. あなたはイエス自身がどのようにしてイザヤ書29章14節を成就されたか理解できますか？
   b. あなたはイエスを拒む者たちがどのようにしてイザヤ書29章14節を成就したか理解できますか？

4. パウロは続けて、20-21節で、いかなる人も人間の知恵を通じて神を知ったり、救いを得たりしたことはないと述べています。神は説教される愚かなことを通して、信じる者だけを救われます。ここで「説教されること」と訳されているギリシャ語は「ケリュグマ」で、これは「イエス・キリストを通じた救いの使徒的宣言」を意味します。

5. なぜケリュグマは、滅びゆく者にとって愚かなことなのでしょうか？（22-23節）

6. 救われる者たちは、どのようにして十字架が神の力であり、知恵であることを理解するのでしょうか？十字架はどんな人間の知恵や力よりも優れており、それだけが私たちを救うことができます。（24-25節）

分かち合い

1. シンプルな福音（知恵や悟りではない,19節）について：
   a. あなたが初めて福音を聞き、理解し、信じ始めたとき、福音はあなたにどのように働きかけましたか？
   b. 福音によって、あなたは日々どのように前進していますか？
   c. これからさらに、福音を、日常生活にどのように適用しますか？

具体的な祈りのリクエストを共有し、お互いのために祈り合いましょう。

レッスンPDF: t-b-c.us/sg4024jp

学びの聖句: t-b-c.us/sg4024j